参考資料

犯罪から県民を守るアクションプログラム（仮称）（中間案）について

※以下は、今回の意見募集の対象である「犯罪から県民を守るアクションプログラム（仮称）（中間案）」についての説明であり、これ自体は意見募集の対象外です。

１　策定の趣旨

本県では、地域における自主防犯活動を促進するなど、県民等との「協創」による安全で安心なまちづくりに取り組んできました。特に、平成 28（2016）年５月の「伊勢志摩サミット」の開催にあたっては、地域密着型のテロ対策の推進体制がスタートするなど、“オール三重”で一丸となった取組が展開され、県民の皆さんとの協創によって安全・安心なまちづくりを実現する気運が一層高まりました。

このようなサミットの「レガシー」を引き継ぎ発展させ、県民等さまざまな主体との協創による安全で安心な三重のまちづくりを総合的に推進していくために、「犯罪から県民を守るアクションプログラム（仮称）」を策定することとしており、中間案を取りまとめました。

２　中間案の概要

（１）計画期間

計画策定の日から平成 31（2019）年度末

（２）基本方針

ア）意識づくり（防犯・交通事故防止意識を高める）
イ）地域づくり（地域の防犯・交通安全力を向上させる）
ウ）環境づくり（犯罪や交通事故を防ぐ環境を整える）

の３つを基本方針として、県民、事業者の皆さん等さまざまな主体との協創により、**「県民力でつくる　犯罪や交通事故のない、安全で安心な三重」**をめざしていきます。

（３）計画の概要

中間案の概要については、別紙**（この資料の３ページ）**のとおりです。

＜計画の特徴とポイント＞

① 防犯と交通安全を総合的かつ横断的に推進するアクションプログラム

本計画では、**防犯だけでなく、交通安全も含めた安全・安心を総合的かつ横断的に推進するアクションプログラム**としているところが特徴の一つとなっています。また、県民の皆さん等に期待するアクションの具体例の提示、自主防犯活動団体の活動事例等の具体例を盛り込み、真に実効性のあるアクションプログラムとなるようにしています。

② 県と県民の皆さん等との協創による安全・安心をめざし、進化するアクションプログラム

策定後のＰＲ、出前講座等での具体的なアクションの呼びかけ、県民・事業者独自のアクションの収集と横展開の３つのステップで、本計画を道具として活用してもらい、計画自体を進化させていくことを想定しています。

③ 重点テーマの設定

犯罪等に関する現状や、平成 28 年１月～２月に実施した「『犯罪から県民を守るアクションプログラム（仮称)』に係る県民意識調査」の結果を参考にし、以下の７つの重点テーマを設定しました。これらのテーマに基づき、県と県民の皆さん等さまざまな主体との協創で取組を進めていきます。

ア）犯罪被害に遭いにくい生活環境を確保する
イ）子ども・女性・高齢者を犯罪から守る
ウ）テロ対策を推進する
エ）ＩＴ社会における安全・安心を確保する
オ）薬物乱用を防止する
カ）交通事故ゼロ・飲酒運転ゼロをめざす
キ）犯罪被害者等支援策を充実させる

④ 数値目標の設定

基本目標は、「刑法犯認知件数」および「交通事故死者数」としています。

目標値は、「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」、「第 10 次三重県交通安全計画」に合わせています。

〇刑法犯認知件数（平成 27 年現状値 15,178 件、平成 31 年目標値 15,178 件未満）

犯罪から県民を守る取組の成果を客観的に表す総合的な指標として、県民の皆さんにとってわかりやすいものであることから設定しました。

〇交通事故死者数（平成 27 年現状値 87 人、平成 31 年目標値 60 人以下）

交通事故の抑止は交通安全対策の最大の課題であり、交通事故がもたらす最悪の結果を回避すべく、国および県の交通安全計画の目標にもなっているこの指標を設定しました。

【重点テーマの活動指標】

基本目標の達成につなげるため、重点テーマ毎に進捗を測る目安として活動指標を掲げます。

３　今後の予定

10 月～11 月　パブリックコメント実施、最終案作成、懇話会等で意見聴取
12 月　県議会常任委員会に最終案を説明
平成 29 年１月　策定・公表

別紙

犯罪から県民を守るアクションプログラム（仮称）（中間案）の概要

計画の趣旨

＜背景＞

○県内の刑法犯認知件数がピーク時から７割近く減少するなど、犯罪情勢には一定の改善が見られます。一方で、県民の皆さんに強い不安を与える凶悪犯罪や侵入犯罪、子どもや女性が被害者となる性犯罪等が後を絶たないなど、県民の皆さんの不安が解消されるには至っていません。

○伊勢志摩サミット後も、お伊勢さん菓子博2017や高校総体、三重とこわか国体の開催などにより、多くの人びとの来県が見込まれ、交通安全にも一層の注意が求められています。

＜伊勢志摩サミットの「レガシー」を発展させる＞

○サミットの開催は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という気運の高まりなどの「レガシー」を三重にもたらしました。

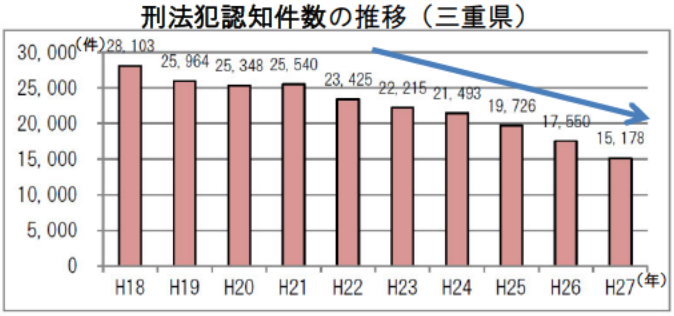
○このようなサミットのレガシーを得た今こそ、それを引き継ぎ発展させて、県として県民等さまざまな主体との協創による安全で安心な三重のまちづくりを総合的に推進していくため、計画を策定します。

＜位置づけ＞

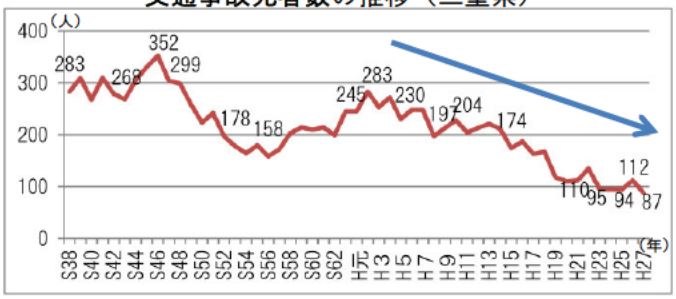
○「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」の中で、県を挙げて県民等さまざまな主体と協創し、防犯と交通安全のための取組を総合的かつ横断的に推進していく個別計画とします。

計画期間：平成31（2019）年度末まで

刑法犯認知件数の推移（三重県）



交通事故死者数の推移（三重県）



刑法犯認知件数、交通事故死者数は、ともに減少傾向にありますが、計画策定のために実施した県民意識調査結果からは、空き巣やひったくり等の犯罪や、子ども・女性に対する犯罪等に脅威を感じる人が多くいることなどがわかりました。

めざす姿

「県民力でつくる　犯罪や交通事故のない、安全で安心な三重」

県民、事業者など、さまざまな主体と**協創**

＜計画期間中の基本目標＞
刑法犯認知件数：15,178件（H27）→15,178件未満（H31）
交通事故死者数：87人（H27）→60人以下（H31）

＜進捗管理＞
毎年度、庁内各部局からなる「連絡会議」で進捗状況等を確認したうえで、進捗状況を広く県民等に共有し、外部有識者等からなる「推進会議」等で意見を聞き、改善を図る

3つの「基本方針」

意識づくり
～防犯・交通事故防止意識を高める～

地域づくり
～地域の防犯・交通安全力を向上させる～

環境づくり
～犯罪や交通事故を防ぐ環境を整える～

7つの「重点テーマ」

①犯罪被害に遭いにくい生活環境を確保する
②子ども・女性・高齢者を犯罪から守る
③テロ対策を推進する
④ＩＴ社会における安全・安心を確保する
⑤薬物乱用を防止する
⑥交通事故ゼロ・飲酒運転ゼロをめざす
⑦犯罪被害者等支援策を充実させる

犯罪等に関する状況や、県民の皆さんの意識をもとに、左の７項目を「重点テーマ」とし、それぞれが互いに横断的なものであることを意識しながら重点的に推進していきます。

各テーマでは、県民・事業者の皆さんに期待する“アクション”を具体的に例示しています。また、関連する県の取組方向を挙げ、進捗を測る目安として、活動指標を掲げています。

①ＰＲ、②アクションの喚起、③県民・事業者独自のアクションの収集と横展開 の３ステップで、計画を‘道具’として協創を進めながら、計画自体を進化させていくことを想定しています。